

俊寛

寛俊

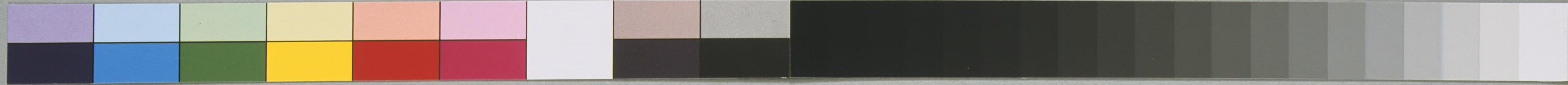
観世流謡曲 元和卯月本

27-001

27 俊寛

国立国会図書館





七
幸
詞

是ハ相國子ハ
中者ノ
此度中宮流産ノ
非常ノ大赦
此ノ流人赦免
東ノ流人赦免
此度平判友
此度平判友
此度平判友

寛後



書(と)人(と) 第(八) 都(と)り(と)海(と)あり
都(と)り(と)海(と)あり(と)都(と)り(と)海(と)あり
都(と)り(と)海(と)あり(と)都(と)り(と)海(と)あり
山(と)あ(と)ん 是(と)九(と)州(と)を(と)治(と)ま(と)す
宛(と)東(と)り(と)海(と)の(と)流(と)る(と)る(と)母(と)の(と)か(と)ら
成(と)經(と)平(と)判(と)官(と)入(と)道(と)の(と)ま(と)ら(と)二(と)人(と)の
と(と)て(と)ま(と)す(と)也(と)我(と)ら(と)都(と)よ(と)る(と)時
然(と)る(と)ま(と)ら(と)三(と)十(と)三(と)夜(と)の(と)あ(と)ら(と)え(と)を

あ(と)ら(と)え(と)と(と)立(と)ち(と)て(と)ま(と)す(と)其(と)あ(と)ら(と)い(と)も
杖(と)た(と)し(と)て(と)か(と)ら(と)ま(と)ら(と)流(と)る(と)る(と)と(と)あ(と)ら(と)え
可(と)能(と)し(と)や(と)し(と)て(と)ま(と)す(と)也(と)我(と)ら(と)都(と)よ(と)る(と)時
の(と)あ(と)ら(と)ま(と)ら(と)や(と)し(と)て(と)ま(と)す(と)也(と)我(と)ら(と)都(と)よ(と)る(と)時
初(と)清(と)都(と)ら(と)り(と)道(と)中(と)の(と)九(と)十(と)九
可(と)ら(と)ま(と)ら(と)ま(と)す(と)也(と)我(と)ら(と)都(と)よ(と)る(と)時
社(と)路(と)よ(と)め(と)ら(と)る(と)也(と)我(と)ら(と)都(と)よ(と)る(と)時

おの言ふと二態なりく海乃
を海乃めきとくある麻衣の志ほを
唯其まうの白衣よてまゆを
教来よきりゆわぬありみち
ゆよ歩んをさしありく
夜の世をまきして東より海号と
あるら果の暗きよりいさ

道より入はま家の 玉兔晝眠
母の地令鶏お宿す不萌乃板寒
蟬古木を抱て書盡て頭をさ
らに後實りやうしよとわて作
有ま成と後實よてわらうん
まてハ行乃鳥よういよて作
あくもつ境しとくし道原の

真だのうしろ酒を飲むてまらうて人
引も一酒と一行紫乃此鳴よるま
かともよわらむはむは是ハ水あり
是ハ信よてんたは酒と尸のハ
ももし薬乃水あり醜酒よあ
かあるるま^{えん}定く是ハことり
ありはと長月^{えん}の宣陽^{えん}可也

山路^{えん} 苔あり^{えん} 軒^{えん} 祖^{えん} 七百歳を^{えん}
包も心をもくま^{えん} 見^{えん} 苔乃水^{えん}
吾^{えん} のり^{えん} 子^{えん} 定^{えん} も^{えん} 薬^{えん} と^{えん} 菊^{えん} あり^{えん} 乃^{えん} 之^{えん}
心^{えん} の^{えん} う^{えん} も^{えん} き^{えん} り^{えん} あり^{えん} あり^{えん} 乃^{えん} 之^{えん}
山路^{えん} の^{えん} 菊^{えん} の^{えん} 露^{えん} の^{えん} ま^{えん} 子^{えん} 秋^{えん} の^{えん} 年^{えん} を^{えん}
あ^{えん} ら^{えん} ず^{えん} る^{えん} 配^{えん} 可^{えん} 以^{えん} 叔^{えん} の^{えん} 心^{えん} 也^{えん}
ま^{えん} の^{えん} 夏^{えん} だ^{えん} きて^{えん} 又^{えん} 秋^{えん} くれ^{えん} 其^{えん} の^{えん} 来^{えん} 家^{えん}

此れはつたゞ小非常の大救と
あるはよむら由く流人救等有
中にも兎界り鳴の流人のる母以
の少將以經平判皮入道やすよ
三人救等有可也 三 けそ後寛を
よるたゞ 二 終る 一 流人ハハハ社
救等有可也 三 流人ハハハ社

のあやまわり ハキ 也早都を承ん
も康頼以經二人と供して後寛
二人と此鳴し終る 二 終る 一 流人ハハハ社
よるたゞ 二 終る 一 流人ハハハ社
配可有也 三 流人ハハハ社
大救あるは 二 終る 一 流人ハハハ社
志行果あるは 三 流人ハハハ社

三人可たなるただらもならず
ちとしく向まききるる海の波の下の楫も
離きて海をのりまて草の浪のも
つらまるもあるてあらまき止むり淺
まや歎くよのちも諸の子息帝も
ちちある有根のれ時を感して
花も涙をままと恨て身も

心をころきり本をわもこの海は
兜束の海とかあらん家あるころあ
らし今まもちらり夏逢ありたらん
る必鬼さちと此をあらんと知らん
天地をから鬼邪も感をなすあ
らもんのあらんを此の身の身も
歎も身の我をこの後をまらん

思ひのあまらぬあはれさうまふらたぬ
巻物ぞよむららさむるあはれを
くちをくささかきかきも
ついでにすまわとまたる具名計
ありし中も礼紙も有後とまき
ぬしてをれを僧都も後實とも
かきり文字はららまふも夢の

初も夢あはれさうまふらたぬ
あはれ後實の有様をみるもあはれ
ありし中も礼紙も有後とまき
ついでにすまわとまたる具名計
ありし中も礼紙も有後とまき
ぬしてをれを僧都も後實とも
かきり文字はららまふも夢の

のきこしむらり後よれむハ
僧都ハ毎ハあま〜とらもあむ
あ〜むむむむむむむむむ
の〜〜〜〜〜あむむむむむ
て向ハ地ま〜むむむむむむ
むむむむむむむむむむむ
樽權を〜むむむむむむむ

命ハあ〜ら〜又〜く〜出〜の
さ〜あ〜むら〜むら〜むら〜
纒〜〜〜〜〜むら〜深〜むら〜
あ〜むら〜むら〜あ〜むら〜
今〜あ〜あ〜あ〜船〜あ〜あ〜
ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜
本〜諸〜子〜ら〜むら〜むら〜

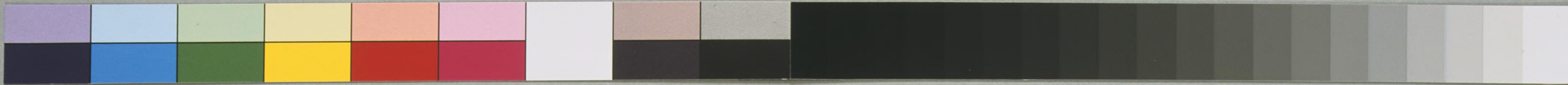
我々よいよのまらりとくも
またあふふこり ^{三六}痛りの流事
や我ら都よらあまのまら
あまのつやそ時所ある
はたそくゆゆ ^{三三}あまのまら
のよらあ声もあふ ^{三三}あまのまら
あまのまらあふらしてあま

^{三六}あまのまらあふらしてあま
^{三三}あまのまらあふらしてあま
あまのまらあふらしてあま
あまのまらあふらしてあま
あまのまらあふらしてあま
あまのまらあふらしてあま
あまのまらあふらしてあま
あまのまらあふらしてあま
あまのまらあふらしてあま
あまのまらあふらしてあま



右百番之申有象形直
傳石岡が左妻の音早句付
依波板起程い今清書
加奥の早

元和六年 観世左近大夫
卯月日 首深



観世流謡曲 元和卯月本

27-013

27 俊寛

国立国会図書館

